

指定管理者評価表(外部評価シート)

1. 基本事項

施設の概要		指定管理の状況		
名称	中央児童センターにこっと	指定管理者	名称	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
所在地	可児市下恵土5076番地	所在地	所在地	東京都調布市調布ヶ丘三丁目6番地3
設置目的	児童福祉法(昭和22年法律第164号)第35条の規定に基づき設置した児童厚生施設であり、児童を健全に育成することを目的とする。	指定管理期間	平成30年5月6日 ~ 令和3年3月31日(1期目)	
		選定種別	公募	利用料金制
供用開始年月	平成30年5月	業務内容	児童館の運営管理、児童の健全育成を図る業務、児童のための地域組織活動の育成、施設の維持管理、児童館の設置目的に必要な事業	
施設所管部署	こども健康部 子育て支援課			

2. 施設の運営状況

① 利用状況

項目	30年度(1年目)	31年度(2年目)
開館日数	343日	341日
施設利用者数	63,211人	56,479人

② 自主事業実施状況

項目	30年度(1年目)	31年度(2年目)
開催回数	20回	26回

③ 主な自主事業の内容

実施年度	事業の名称等	参加人数
H30	スポーツ鬼ごっこ	325人
H30	こども運営委員会	9人
H31	かずせんせいとあそぼう	314人
H31	栄養士による食育活動	24人
		人
		人
		人

3. 収支状況

① 収入

単位:円

項目	30年度(1年目)	31年度(2年目)	
	実績	計画	実績
指定管理料	17,167,680	18,933,000	18,935,480
自主事業収入	0	100,000	0
その他			
収入計 A	17,167,680	19,033,000	18,935,480

② 支出

単位:円

項目	30年度(1年目)	31年度(2年目)	
	実績	計画	実績
人件費	14,320,555	16,300,000	15,302,092
管理費	1,645,520	1,432,000	1,687,186
事業費	271,539	701,000	153,850
事務費	340,319	350,000	134,397
事務経費	1,260,286	250,000	1,707,084
その他			
支出計 B	17,838,219	19,033,000	18,984,609
収支 A-B	-670,539	0	-49,129

4. 評価結果

区分	評価項目	評価内容	一次評価(施設所管課)		二次評価(選定評価委員会)	
			評価理由等	評価	評価理由等	評価
業務の履行	事業計画書及び協定書に掲げる業務の実施状況	事業計画書や協定書に掲げる業務が確実に実行されているか	事業計画書に基づき、順調に実行されている。	B	不審者対策の訓練を含め研修も積極的に行われ、事業計画書に基づき、業務が確実に実施されている。21時まで開館していることから、中高生にとって学習の場・体を動かす場としての利用が伸び、定着してきている。	B
	人員配置及び職員研修の状況	必要な人員が確保され、職員研修も実施されているか	長期休暇期間等利用者が増加する期間の増員や、夜間の男性職員の配置等、必要な人員配置を行った。社内研修の実施、また県児童館連絡協議会主催の研修等に参加することで、職員のスキル向上に努めた。	B		
	文書・帳簿の管理保存状況	管理業務に関する文書・帳簿は適切に整理保管されているか	適切に実行されている。	B		
	施設設備・備品の保守管理の実施状況	管理施設の設備・備品の保守管理状況は適切か	適切に管理されている。	B		
	緊急時の対応方法	緊急時の対応マニュアルや事後の対応への備えができていないか	危機管理マニュアルや不審者侵入時対応マニュアルを整備している。また、嘔吐物の処理方法など実践形式の研修を行った。	B		
	利用者の推移	利用者が特別な事情がないにもかかわらず前年度に比べ減少していないか	幼児の利用者数が減っているが、保育園で行われている支援センターなど親子で過ごす場の選択肢が増えたためと考えられる。中高生の利用は伸び、学習等で過ごす場としても広く活用されている。	B		
サービスの水準	サービス向上及び経営改善に関する独自の取り組み	サービス向上等に向けた独自の取り組みは実施されているか	幼児、小学生、中学生など幅広い年代が参加できる行事を実施するなど、異学年が交流できる場を設けた。	B	幅広い年代が参加し交流できる行事を実施するほか、中高生の居場所の提供にも注力するなどサービスの向上を図っており、アンケート結果では利用者から高い評価が得られている。	B
	利用者満足度調査における施設満足度	利用者の施設満足度は高いか	アンケート結果から、おおむね満足いただいていることがわかる。具体的な要望等も挙げられているので改善につなげられたい。	B		
	PR・情報提供の実施状況	様々な方法により、積極的なPRや情報提供が行われているか	毎月発行される児童センターだよりを市役所、地区センター、子育て健康プラザ、幼稚園、保育園、自治会へ配付。子育て情報誌おおきなあれ(月刊紙)への掲載や、ホームページで適切に情報発信が行われている。	B		
	苦情処理の状況	苦情に関する帳簿が作成され、内容は職員に周知され、適切な対応がなされているか	苦情があった場合に適切な対応と、市への報告、職員間での情報共有を行っている。	B		
収支状況	指定管理経費の経理事務の状況	指定管理費に関する経理事務は適正に行われているか	適正に実行されている。	B	指定管理者法人の財政状況は安定している。指定管理に係る収支については、赤字となっているものの、2年目には大幅に減少しており、改善のための努力の跡が見られる。	B
	指定管理者施設の財務状況	指定管理者施設の財務状況は適正か	収支は赤字となっているが、2年目には赤字額が減少している。	B		
総合評価			可児駅前の立地という中央児童センターの特長を活かし、幅広い年代の利用者の満足を得ることができている。また、専門の職員による体力増進活動や食育活動に取り組むこともできている。指定管理者の業務について適正な運営が行われていると評価できる。	B	「所見」欄に記載	B

所見	JR及び名鉄の駅前という良好な立地条件に加え充実した設備という特長を活かし、幅広い年代の利用者の満足を得ており、また、安心・安全に過ごすことができるように、職員研修にも積極的に取り組んでいる点が高く評価できる。業務全般が適正に運営されており、指定管理者の特長を活かした活動を引き続き実施するとともに、情報発信に更なる工夫を凝らして利用者の増加につなげていただきたい。
----	---

5. 参考(評価基準)

① 区分別評価基準

◆業務の履行

評価	内 容
A	適切に実施されており、より効果的に業務が実施されている
B	適切に実施されており、特に改善等を要する事項はない
C	おおむね適切に実施されているが、その一部に改善を必要とする事項が見受けられる
D	要求事項が実施されていないか、実施されていても適切ではないため大幅な改善が必要である

◆サービスの水準

評価	内 容
A	サービス水準の向上が認められ、独自の工夫も多く見受けられる
B	サービス水準はおおむね維持されている
C	サービス水準の一部に低下が見られ、サービス向上の努力が必要である
D	サービス水準が低下していると認められるため、サービス向上に向けた大幅な改善が必要である

◆収支状況

評価	内 容
A	収支は計画に比べ向上が見られる。財務状況も良好である
B	収支はおおむね計画どおりと認められる。財務状況は良好である
C	収支のいずれか、又は両方が計画を達成していない。財務状況は良好である
D	収支のいずれも計画を達成していない。財務状況も良好とはいえない

② 総合評価基準(評価指標の①②のいずれかの基準を採用し、評価を決定する)

評価	内 容
A	① 全ての評価がB以上で、Aの割合が60%以上である
	② 適切に実施されており、評価できる点が多く、改善が必要と思われる重要事項もない
B	① 全ての評価がB以上で、Aの割合が60%未満である
	② おおむね適切に実施されており、評価できる点もあるが、軽微な事項を含め改善が必要な事項がある
C	① A・Bに該当せず、Dの割合が30%以下である
	② 適切に実施されている部分もあるが、改善が必要と思われる重要な事項もある
D	① 上記のいずれの評価にも該当しない
	② 改善が必要と思われる重要な事項が多く、早急な改善が必要である

指定管理者評価表(外部評価シート)

1. 基本事項

		評価対象期間	平成30年4月1日 ~ 令和2年3月31日		
施設の概要		指定管理の状況			
名称 及び 所在地	帷子児童センター 可児市東帷子1024番地6	指定 管理者	名称	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	
	桜ヶ丘児童センター 可児市皐ヶ丘6丁目1番地1		所在地	東京都調布市調布ヶ丘三丁目6番地3	
	兼山児童館 可児市兼山674番地1 観光交流館2階	指定管理期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日 (1期目)		
		選定種別	公募	利用料金制	不採用
設置目的	児童福祉法(昭和22年法律第164号)第35条の規定に基づき設置した児童厚生施設であり、児童を健全に育成することを目的とする。	業務内容	児童館の運営管理、児童の健全育成を図る業務、児童のための地域組織活動の育成、施設の維持管理、児童館の設置目的に必要な事業		
供用開始年月	帷子(昭和58年4月1日)、桜ヶ丘(平成4年4月1日)、兼山(平成17年5月1日)				
施設所管部署	こども健康部 子育て支援課				

2. 施設の運営状況(1年目、2年目は広見児童センターを含む4館の状況)

① 利用状況

項目	28年度(1年目)	29年度(2年目)	30年度(3年目)	31年度(4年目)
開館日数	274 日	274 日	270 日	267 日
施設利用者数	61,262 人	58,621 人	44,020 人	38,983 人

② 自主事業実施状況

項目	28年度(1年目)	29年度(2年目)	30年度(3年目)	31年度(4年目)
開催回数	56 回	98 回	118 回	162 回

③ 主な自主事業の内容

実施年度	事業の名称等	参加人数
H28	高木先生とあそぼう(スポーツ鬼ごっこ等)	248 人
H28	管理栄養士による食育活動	42 人
H29	スポーツ鬼ごっこ	617 人
H29	こども運営委員会	81 人
H30	スポーツ鬼ごっこ	502 人
H30	かずせんせいとあそぼう	865 人
H31	管理栄養士による食育活動	93 人

3. 収支状況 (1年目、2年目は広見児童センターを含む4館の状況)

① 収入

単位:円

項目	28年度(1年目)	29年度(2年目)	30年度(3年目)	31年度(4年目)	
	実績	実績	実績	計画	実績
指定管理料	47,520,000	47,511,000	35,524,000	34,787,000	34,787,350
利用料収入	0	0	0	0	0
自主事業収入	0	0	0	100,000	0
その他					
収入計 A	47,520,000	47,511,000	35,524,000	34,887,000	34,787,350

② 支出

単位:円

項目	28年度(1年目)	29年度(2年目)	30年度(3年目)	31年度(4年目)	
	実績	実績	実績	計画	実績
人件費	30,942,961	35,446,666	26,911,902	26,582,000	24,816,544
管理費	7,763,716	1,045,462	6,656,319	5,300,000	7,483,697
事業費	1,158,161	1,015,189	577,790	1,283,000	848,999
事務費	1,285,693	8,378,597	864,194	1,272,000	576,689
事務経費	3,015,754	3,213,742	2,759,147	450,000	2,747,545
その他					
支出計 B	44,166,285	49,099,656	37,769,352	34,887,000	36,473,474
収支 A-B	3,353,715	-1,588,656	-2,245,352	0	-1,686,124

4. 評価結果

区分	評価項目	評価内容	一次評価(施設所管課)		二次評価(選定評価委員会)	
			評価理由等	評価	評価理由等	評価
業務の履行	事業計画書及び協定書に掲げる業務の実施状況	事業計画書や協定書に掲げる業務が確実に実行されているか	事業計画書に基づき、順調に実行されている。	B	少子化に加え、他に親子で気軽に遊びに行ける場所が増えていることもあり、利用者数が全体的に減少してきているものの、柔軟な人員配置、積極的な研修参加等も行いながら、業務を確実に履行している。	B
	人員配置及び職員研修の状況	必要な人員が確保され、職員研修も実施されているか	長期休暇期間等利用者が増加する期間にも、必要な人員配置を行った。社内研修の実施、また県児童館連絡協議会主催の研修等に参加することで、職員のスキル向上に努めた。	B		
	文書・帳簿の管理保存状況	管理業務に関する文書・帳簿は適切に整理保管されているか	適切に実行されている。	B		
	施設設備・備品の保守管理の実施状況	管理施設の設備・備品の保守管理状況は適切か	適切に管理されている。	B		
	緊急時の対応方法	緊急時の対応マニュアルや事後の対応への備えができていないか	危機管理マニュアルや不審者侵入時対応マニュアルを整備している。また、嘔吐物の処理方法など実践形式の研修を行った。	B		
	利用者の推移	利用者が特別な事情がないにもかかわらず前年度に比べ減少していないか	利用者数が減っている。保育園内の支援センター、地域のサロンなど、親子で過ごす場の選択肢が増えたためと考えている。利用者の声も聞きながら、多くの選択肢の中で選んでもらえる児童館を目指してもらいたい。	B		
サービスの水準	サービス向上及び経営改善に関する独自の取り組み	サービス向上等に向けた独自の取り組みは実施されているか	令和元年5月の大型連休には、帷子・桜ヶ丘児童センターを3日間臨時開館し、子どもの居場所づくりに努めた。	A	大型連休中に臨時開館し子どもの居場所づくりに取り組むなどの、的確かつ柔軟な対応によりサービスの向上を図っており、アンケート結果を見ても利用者の満足度は高い。	B
	利用者満足度調査における施設満足度	利用者の施設満足度は高いか	アンケート結果から、おおむね満足いただいていることがわかる。具体的な要望等も挙げられているので改善につなげられたい。	B		
	PR・情報提供の実施状況	様々な方法により、積極的なPRや情報提供が行われているか	毎月発行される児童センターだよりを市役所、地区センター、子育て健康プラザ、幼稚園、保育園、自治会へ配付。子育て情報誌おおきなあれ(月刊紙)への掲載や、ホームページで積極的に情報発信が行われている。	B		
	苦情処理の状況	苦情に関する帳簿が作成され、内容は職員に周知され、適切な対応がなされているか	苦情があった場合に適切な対応と、市への報告、職員間での情報共有を行っている。	B		
収支状況	指定管理経費の経理事務の状況	指定管理費に関する経理事務は適正に行われているか	適正に実行されている。	B	指定管理者法人の財政状況は安定している。指定管理に係る収支の赤字については改善が図られつつあるが、今後の継続的な業務履行のために、更なる支出項目の見直しを引き続いて実施されたい。	B
	指定管理者施設の財務状況	指定管理者施設の財務状況は適正か	H29年度以降の収支は赤字となっている。計画と大幅に異なる項目があることから、全体の予算配分を精査する必要もある。	C		
総合評価			各児童センター・館がそれぞれの特長を活かした行事を実施し、利用者の満足を得ることができている。また、専門の職員による体力増進活動や食育活動に取り組むことができた。指定管理者の業務について適正な運営が行われていると評価できる。	B	「所見」欄に記載	B

所見

利用者の要望に応えるためサービス向上に向けた取組を実施しており、子どもの居場所として定着している。また、安心・安全に過ごすことができるように施設の環境を整え、職員研修にも積極的に取り組んでいる点は高く評価できる。業務は全般として適正に運営されており、指定管理者の特長を活かした活動を引き続き実施するとともに、今後も子育て世代の抱える問題に適切に対応していくことを期待する。

5. 参考(評価基準)

① 区別評価基準

◆業務の履行

評価	内 容
A	適切に実施されており、より効果的に業務が実施されている
B	適切に実施されており、特に改善等を要する事項はない
C	おおむね適切に実施されているが、その一部に改善を必要とする事項が見受けられる
D	要求事項が実施されていないか、実施されていても適切ではないため大幅な改善が必要である

◆サービスの水準

評価	内 容
A	サービス水準の向上が認められ、独自の工夫も多く見受けられる
B	サービス水準はおおむね維持されている
C	サービス水準の一部に低下が見られ、サービス向上の努力が必要である
D	サービス水準が低下していると認められるため、サービス向上に向けた大幅な改善が必要である

◆収支状況

評価	内 容
A	収支は計画に比べ向上が見られる。財務状況も良好である
B	収支はおおむね計画どおりと認められる。財務状況は良好である
C	収支のいずれか、又は両方が計画を達成していない。財務状況は良好である
D	収支のいずれも計画を達成していない。財務状況も良好とはいえない

② 総合評価基準(評価指標の①②のいずれかの基準を採用し、評価を決定する)

評価	内 容
A	① 全ての評価がB以上で、Aの割合が60%以上である
	② 適切に実施されており、評価できる点が多く、改善が必要と思われる重要事項もない
B	① 全ての評価がB以上で、Aの割合が60%未満である
	② おおむね適切に実施されており、評価できる点もあるが、軽微な事項を含め改善が必要な事項がある
C	① A・Bに該当せず、Dの割合が30%以下である
	② 適切に実施されている部分もあるが、改善が必要と思われる重要な事項もある
D	① 上記のいずれの評価にも該当しない
	② 改善が必要と思われる重要な事項が多く、早急な改善が必要である